

新チャレンジ章「セーフティエキスパート」

実施の手引き

I. 新チャレンジ章

・はじめに

カブスカウトの選択課目であるチャレンジ章は、「社会生活」、「自然と野外活動」など 5 つの分野で全 40 種類が設定されています。カブ隊に入隊、上進した後、活動や生活の中で進級課目に取り組みつつ、自分の興味があるものや得意なものから自由に挑戦することができるのが特徴です。隊の指導者やご家族一緒になって取り組むことで、生活の幅を広げ、個性を伸ばし、自信を深めることにつながります。

そのチャレンジ章に、企業とのタイアップによるバッジが数量限定で加わるようになりました。これは、通常のチャレンジ章課目と同様に、家庭や組、隊での活動において細目に挑戦し、サインしてもらうことでバッジを制服やタスキに着用できます。この新チャレンジ章は、カブブック「チャレンジ章」には載っていません。ワークブックや本紙「実施の手引き」に、取得するための細目や活動のヒントを掲載していきます。

・セーフティエキスパートとは

セーフティファースト（安全第一）を最も大切にしているリオティント社とともに、子どもたち自身の安全意識の向上を目指してこのバッジを作りました。



活動中や移動中、さらには家の中での安全について考えるために、いろいろな危険が隠れた日常シーンのイラストをもとに、日ごろから安全を意識することができる、セーフティエキスパートに挑戦してください。

カブスカウト年代から、安全についての必修課目が出てきますが、それらを深掘して活動として取り組むことは初めての機会となります。

Ⅱ. プログラムの導入

・年間および月間プログラムへ

プログラムとして実施するためにも、今回の新チャレンジ章の活動を年間プログラムへ反映、また月間プログラムへ落とし込む作業が必要になってきます。

類似するテーマの隊活動または組での活動として、また特別隊集会としての取り組みもひとつの方法ですが、家庭で保護者と一緒になって課題（細目）に取り組むことも可能です。プログラムの取り組み方法を隊として決めてください。

・ワークブックの活用方法

セーフティエキスパートでは、日常に潜む危険要因を示したイラストを作成しました。点在する危険な場所を予測し、的確に回避するための訓練、危険予知トレーニング（KYT）にお勧めです。

プログラム1～5を取り組み、安全についてみんなで考えましょう。イラストをみて、危険要素を探してみましよう。

屋外でも安心した活動ができるよう、町の危険要素を探す活動にもつながります。

【日常シーンに潜む危険要素・答え】全9か所

- ・虫取り網を振り回している
- ・帽子をかぶっていない
- ・寝不足である
- ・横断歩道のない場所での横断
- ・急いで横断歩道を横断しようとしている
- ・歩きスマホ&イヤホン
- ・枝が折れそうな木
- ・歩行者の巻き込み
- ・「自転車および歩行者専用の標識」のある歩道で並んで歩行

【プログラムと細目の関連性】

- | | |
|------------------------------|---------|
| 1. 活動中の作業を通して考えてみよう | 細目 1, 4 |
| 2. 危険な箇所を探そう | } |
| 3. 結果を考えよう | |
| 4. 起こっていることを理解して、安全になる工夫をしよう | |
| 5. いつでも安全に活動しよう | 細目 3 |



・ワークブックへのサイン

細目やプログラムに挑戦したら、ワークブックへサインをします。組や隊の集会であれば隊指導者やデンリーダーが、自宅で細目に挑戦したら、保護者の方が日付と名前を記入します。

一つひとつの細目がスカウトのスキルアップにつながっていますので、頑張りをほめてあげてください。

・組集会での取り組み

細目およびすべてのプログラムは、組集会でも実施できます。組として安全について学習したうえで、隊での共有や、発展した活動として取り組んでください。

・家庭での取り組み

意識すると「危険」は家の中にもあふれています。隊活動のバランスを見て、家庭で保護者の方と一緒に取り組む機会として活用してください。

Ⅲ. バッジの授与

・授与のタイミング

スカウトがすべての細目を履修し、「セーフティファースト宣言」をワークブックに書き入れたら、隊長の承認によりチャレンジは完了します。

バッジは、手元にあるからとその場で配布せず、通常のチャレンジ章と同じく、隊活動や団行事でのセレモニーや各種記章授与式など、他部門を含めたスカウトや保護者の方が多くいる場において、取り組みを称えて授与してあげてください。

授与するタイミングにおいて、この新チャレンジ章に挑戦することをひとつのきっかけとして、他のチャレンジ章やひとつ上の進級を目指して、家庭や組・隊集会での活動につなげられるよう、隊指導者から声がけをお願いします。

・制服への着用

企業協力によりバッジ作成をしているため、他とカラーデザインが異なりますが、これはチャレンジ章の一つです。初めて取得するスカウトは制服右袖の組別章の下に、5個以上取得しているスカウトはタスキに着用することができます。他のバッジと同様に、ひとつの取り組みの成果として着用してください。

セーフティエキスパートを着用するということは、活動を楽しみつつ、安全第一に行動できるスカウトの証です。安全は何よりも優先される大切なことです。今後も活動における安全を意識する機会を設けて、活動に活かしてください。

・使ったワークブックは

セーフティファースト宣言を書き入れたワークブックは、スカウトの取り組みを示す大切な記録です。ボーイスカウトへと上進してから自分自身で書いた「宣言」を振り返るためにも、カブブック「チャレンジ章」に貼ったり、挟み込んだりと大切に保管するようにご指導ください。

IV. 記録と報告

・活動の記録と日本連盟への報告

活動の様子を、ぜひ写真を含めてお知らせください。スマートフォンに付属するカメラ機能の画素数で十分です。Web サイトに記載する活動報告の案内に従い、以下の項目と活動の様子が分かる写真を添えて、日本連盟までご報告ください。

注意：団内で撮影した写真は、日本連盟および協力企業がプログラム開発および広報として利用する場合がありますので、団内とご家族の許諾確認をお願いします。

新チャレンジ章は、企業・団体とのタイアップによるものであり、皆様からいただいた報告内容が次年度へのつながりや、新たなテーマへとつながっていきます。

【報告いただく内容】

☐所属（県連盟・団） ☐報告者氏名 ☐実施日時 ☐概要・展開 ☐バッジ取得スカウト数 ☐スカウト宣言 ☐指導者の気づきやご意見 ☐活動時の写真（ご家族の許諾確認含む）